

令和7年度絵画コンクール作品コメント

神奈川県知事賞



○低学年の部 近藤 颯人（こんどう はやと）さん

楕円形の浮力を生み出すパワーがSFっぽいアイデアで、未来の楽しい街を表しており、地上と空中の2層構造がわかりやすく、「こんな街が実現するかも」と思わせてくれる作品でした。赤い新幹線も斬新で、デザインもかっこよかったです。全体的にこのコンクールのテーマにぴったりはまっています。



○**中学年の部 西世古 華子（にしぜこ はなこ）さん**

色々な画材を使用して時間をかけて描いた様子が伝わってきます。その場所によって使い分けており、繊細に描かれたシャボン玉の中に過去や宇宙など様々な空間が新幹線とともに描かれていて、未来を感じさせてくれます。新幹線と細かいシャボン玉の対比が素晴らしく、走り去る新幹線のスピード感が虹で表されています。



○高学年の部 三村 祐翔（みむら ゆうと）さん

電車が好きな様子が絵から伝わってきて、「自分になりたい夢」と「みんなの夢を乗せて運ぶ」という、様々な意味での「夢を運ぶ」を感じさせてくれます。

倉見の未来を描いている構図も素晴らしいです。

映画を見ているような臨場感があり、運転席から未来の街に向かって電車が走っていく様子から「期待感」やまだ見ぬまちを想像させます。



○低学年の部 原 陽飛（はら はると）さん

真ん中に大きい新幹線があり、その車体に山などの自然が豊かに描かれており、カラフルで楽しそうな印象を受けました。

まわりには人々の日常が華やかに明るく、元気に過ごしている様子が描かれており、細かいところまでアイデアが詰め込まれていて、飽きることなく見ていられる作品です。



○中学年の部 山田 花凜（やまだ かりん）さん

上からの構図という発想がユニークで驚きました。意外性が強く、色使いも綺麗に塗り分けられています。

整然と並んだお店に地元の名産が描かれていて、新幹線からこのような買い物ができたら楽しそうだなと思わせてくれる作品です。



○高学年の部 成井 しおり（なるい しおり）さん

色鮮やかで目を引きます。色彩豊かに自然が描かれており、風景が綺麗です。

エキゾチックな魅力があります。レンガが一色塗りではなく、様々な色を使用して描かれているのが、立体感を感じさせます。

最新鋭の新幹線とレンガの対比がすばらしく、深いブルーもインパクトがあります。



○低学年の部 大野 湊（おおの みなと）さん

ひまわりが綺麗で、新幹線が斜めに区切る構図が斬新でバランスの良い作品です。クレヨンを使い、しっかりと塗られています。蛍のいる川辺を現していて、未来になっても美しい自然が新幹線とともに続いていく様子を伝えてくれている作品です。手前のひまわりと奥の景色の対比も迫力があってよいです。



○**中学年の部 福富 彩乃（ふくとみ あやの）さん**

四季の中を新幹線が走っていく様子が描かれており、時間の流れを感じさせてくれる作品です。植物や空の様子も四季の様子に合わせています。よく調べて描かれていると思いました。

新幹線はどんなときでも変わることなく走っている様子が描かれており、まるで、キャッチコピーを付けたくなるような作品です。



○高学年の部 小坂 咲喜（こさか さき）さん

みんなが生活する中を新幹線が走っており、「みんなの豊かな社会を新幹線とともに実現していく」というメッセージを感じました。

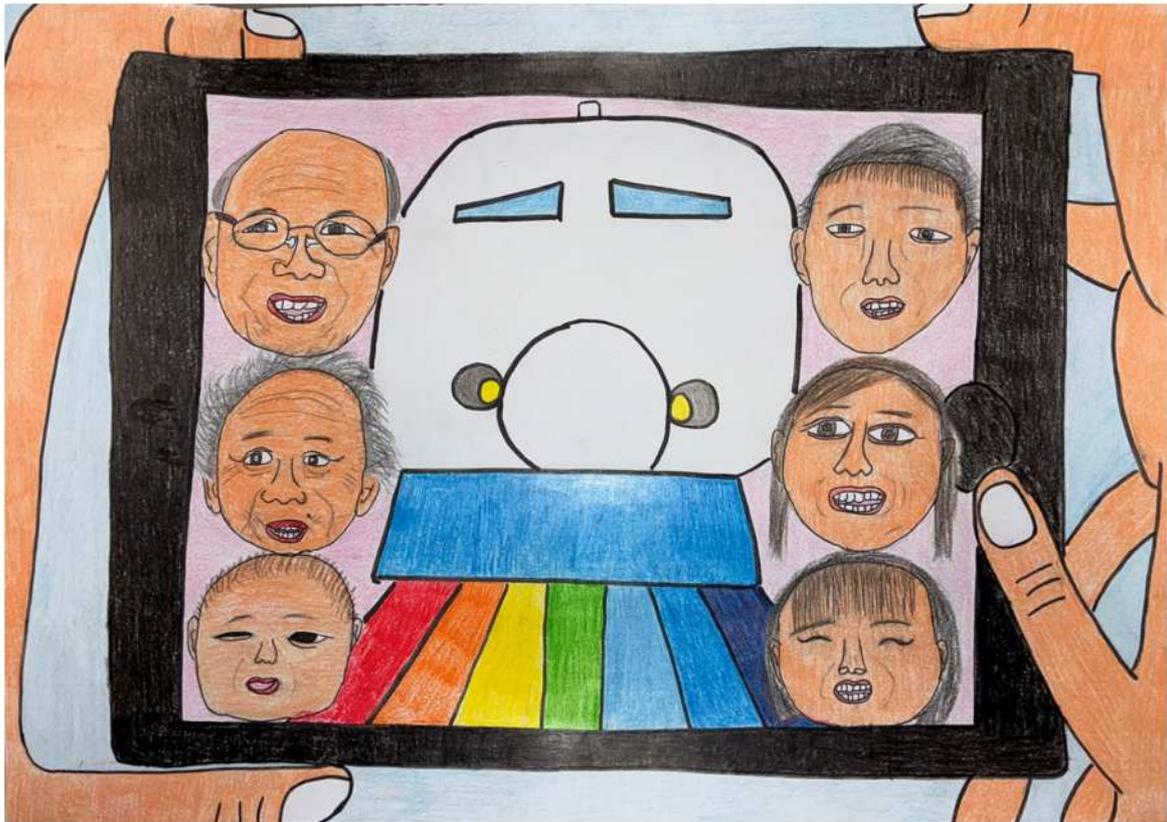
車体がグラデーションになっているのもおもしろく、「スマイルタウン」という街が、共生社会を思わせてくれます。シャボン玉の付いた新幹線なのか、シャボン玉が想像の中なのか、見た人の創造を掻き立て、吸引力のある作品です。



○**中学年の部 一丸 采未 (いちまる ことみ) さん**

全体的にとっても楽しい作品です。色使いも明るく、非常に綺麗です。

黄色い新幹線が目を引くのと同時に、観覧車などがフリーハンドでいい感じに描かれており、心地よいリズムを感じさせます。カラフルな飛行機が飛んでいるところも楽しさを底上げし、子どもらしさを感じさせてくれる作品です。



○高学年の部 井上 琴心 (いのうえ ことみ) さん

はじめのインパクトが大変強い作品です。写真の中に新幹線と子どもからお年寄りまで描かれ、それがスマートフォンで表現されているのが今の時代らしさを感じさせてくれます。

虹色の線路も未来に向けてのメッセージを感じました。